

授業科目

レクリエーション実技

担当教員名 佐近 慎平	対象学年	2	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎

授業の概要

交流場面における個人や集団とのコミュニケーションスキル、レクリエーション・ゲームズ、スポーツ・レクリエーション種目を学ぶ。

授業の目的

対人援助技術、集団援助技術の理論と技術を学び、とくに、楽しさが先導する身体活動の指導方法の基礎を習得することを目的とする。

学習目標

1. 対人援助におけるホスピタリティスキルの基礎を習得する。
2. アイスブレイキングスキルの基礎を習得する。
3. 道具を用いないレクリエーションプログラムを指導できる。
4. スポーツ・レクリエーション（フラッグフットボール等）を指導できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション レクリエーション実技とは	講義・実習	佐近 慎平
2	ホスピタリティトレーニング1 非言語コミュニケーション（視覚）	講義・実習	佐近 慎平
3	ホスピタリティトレーニング2 非言語コミュニケーション（触覚）	講義・実習	佐近 慎平
4	ホスピタリティトレーニング3 言語コミュニケーション	講義・実習	佐近 慎平
5	アイスブレイキングプログラム1 基本隊形	実習	佐近 慎平
6	アイスブレイキングプログラム2 同時発声・同時動作	実習	佐近 慎平
7	幼児期の運動あそび（基本的な動作の経験：移動系・平衡系）	実習	佐近 慎平
8	幼児期の運動あそび（基本的な動作の経験：操作系）	実習	佐近 慎平
9	身体活動を伴うあそびやゲーム1（個人・集団・親子）	実習	佐近 慎平
10	身体活動を伴うあそびやゲーム3（コーディネーショントレーニング、ライフキネティック、パレシューレ）	実習	佐近 慎平
11	学校体育で行われるスポーツ・レクリエーション1（フラッグフットボール）	実習	佐近 慎平
12	学校体育で行われるスポーツ・レクリエーション2（フラッグフットボール）	実習	佐近 慎平
13	学校体育で行われるスポーツ・レクリエーション3（フラッグフットボール）	実習	佐近 慎平
14	学校体育で行われるスポーツ・レクリエーション4（ユニバーサルホッケー）	実習	佐近 慎平
15	学校体育で行われるスポーツ・レクリエーション5（フライングディスク）	実習	佐近 慎平

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	レクリエーション支援の基礎 楽しさ・心地よさを活かす理論と技術	日本レクリエーション協会	公益財団法人日本レクリエーション協会	2008年	2,000円+税	
	ジュニアスポーツ指導員テキスト	公益財団法人日本体育協会	公益財団法人日本体育協会	2014年	7,800円+税	
その他の資料	授業に先立ち適宜配布					

評価方法

受講態度・レポート

履修上の留意点

余暇論を履修していること。

40名2クラスを超えた場合は抽選します。レクリエーションコーディネーター資格希望者は事前に申し出ること。

オフィスアワー・連絡先

月曜日昼休み、O棟401・佐近研究室・sakon@nuhw.ac.jp